



「未来へ語り継ぐ陸前高田」

1 趣旨

東日本大震災により、県内最多の犠牲者を出してしまい、また歴史や文化の証を失った陸前高田市。津波前の町並み、津波の状況、復興の経過、避難のあり方、今後の課題、それらを、個性と経験豊かなガイドがいくつもの震災遺構や復興途上の市街地等をご案内しながら、被災した実体験を交えてお伝えします。何より命の大切さ、そして再認識した先人から伝えられてきた遺訓の大切さをお伝えすることで、津波だけでなくこれから起こりうる様々な災害に少しでも役立てて頂ければと思い活動しています。

2 現状（新型コロナ感染防止関係）

2020年12月現在、受け入れ停止中（以前受付分のみ実施）・・・苦渋の決断、再開未定

感染防止対策：検温・手指消毒・マスク着用、ガイド時間やや短縮（原則90分まで）、

普通車に乗らず（「3密」防止）、等

現在も悩んでいます

3 コース例（東日本大震災津波伝承館と組み合わせて）

（1）従来（新型コロナウイルス感染前、90分程度）

道の駅高田松原（東日本大震災津波伝承館前）→中心市街地（追悼施設・復興まちづくり情報館・震災遺構「米沢商会」・ショッピングセンター「アバッセ」等）→震災遺構「旧気仙中学校」（「奇跡の一本松」遠景含む）→今泉地区高台（気仙小学校等）→道の駅高田松原（東日本大震災津波伝承館前）



「米沢商会」（中心市街地そば、個人が残した震災遺構）

（2）中心市街地の街歩き（新型コロナウイルス感染対策、90分）

「まちの縁側」（陸前高田市観光案内所）→追悼施設・復興まちづくり情報館・震災遺構「米沢商会」→ショッピングセンター「アバッセ」→まちなか広場→本丸公園（ミニ避難体験・広田湾遠景など）→浄土寺（「桜ライン311」の最初の植樹地）→陸前高田駅（JR大船渡線のBRT）→「まちの縁側」



(3) その他の例 (時間があれば)

気仙大工左官伝承館と「希望の灯り」(市内小友地区)



気仙大工左官伝承館と「希望の灯り」



普門寺(市内米崎地区、「五百羅漢」・「おやこ地藏」等)



普門寺・五百羅漢

発酵の里「カモシー」(市内今泉地区にオープン)



発酵パーク CAMOCY

4 受け入れ人数・料金体系（現在）

お車の大小にかかわらず 1 台にガイド 1 名（原則）、時間 90 分まで次の料金

ガイド 1 名当り、1~9 人まで 5000 円、10~29 人まで 6000 円、30 人以上 7000 円

（延長は 30 分毎に 1000 円加算）

同一時間ガイド 4 名程度まで

2012~2019 年受け入れ実績 約 15 万人（内小中高生約 3 万人？）

